

# 包装タイムス

THE HOSO TIMES

6月15日 No.2701

-----2015年(平成27年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

昭和41年9月22日 第3種郵便物承認

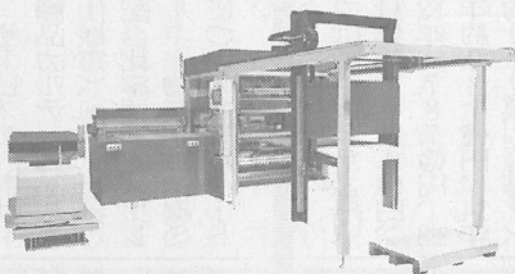
レザック

## 新型ブランキングシステム

### 高速タイプ、受注実績も好調

レザック(大阪府八尾市、☎072・920・0394)はこのほど、ブランキング(落丁)システム「マスターブランカー」の新型・高速タイプを開発し、販売を開始した。近年の印刷機・打抜機のスPEEDアップに合わせるシステムとして注目を浴び、今年3月以降、大手印刷会社を中心に順調な受注実績を重ねている。初年度の受注は10台以上を見込む。

「マスターブランカー」とは、打抜き後のハンマー叩きや手ムシリ作業を完全自動化した画期的な装置で、15年ほど前に独自開発。L判用とL半裁用があり、上下にピンを用いた方式でムラなくプレートを加工し、ラッシングが可能で、50~200枚のブランキングが可能で、手



新型・高速タイプのマスターブランカー

積んで搬送し、戻ってきたバケツト上のカスを排出するのに時間を要した。そこで新型ではコンベヤーを使用した方式(特許申請済み)に変更。待機時間が大幅に短縮され、次の作業も素早くセットできる。このほか、新型ブランカーは作業性においても進化した。従来型は縦長の機械で、オートパレット(自動積み込み機、オプシオン)を使用した場合、セツトなど操作する場所とブランキング後の製品を積み上げる場所が離れていた。そのため、製品にヤレ(間紙)を挟む作業や、目視での検品を行う際、オペレーターはL判用で約8cmの距離を往復して作業、あるいは別の作業者による補助が必要だった。この作業は煩雑で、機械の周りを走るのは危険も伴う。

一方、新型は機械レイアウトを変更し、操作するオペレーターのすぐ横に製品が積まれていく仕様とした。これにより、オペレーターは少しの移動だけで、仕上がり製品側の確認作業が可能になった。

ムシリでは難しかった複雑な形状も高精度に処理できる。シヨブチエンジンは、上下ピンを仕分けるテンプレート(板紙)の差し替えのみ、所要3分以内で行える。多品種・小ロットの加工に対応し、ラッシングコストも低い。新型ブランカーは、左記の従来型(標準機)の長所を踏襲しつつ、およそ2倍のスピードを実現した。カス取りを行い、カスを排出して製品(ワーク)を積み、次のブランキング作業に移るまでの時間を「タクトタイム」と呼ぶが、従来型では43~50秒だった。対して、新型のタクトタイムは約26秒となる。

従来、テーパー状のバケツトに製品を